

2022 春休み、食の分かち合いで子育て応援

「学校給食のない時期の子育て応援：食料支援事業」実施報告

NPO 法人フードバンク狛江

【事業実施の目的】

先の見えないコロナ禍。子どもや子育て家庭にとって心配なことが絶えない中、昨年の夏休み及び冬休みの支援でつながった世帯を対象に、学校給食がない春休みに食料支援を実施しました。進学・進級・卒業を迎える春に、少しでも家計の助けとなることで春休みを笑顔で過ごしてもらえることを願い、また、子育て世帯とのつながりを深めることも目標に入れ、事業を実施しました。

【実施の方法と支援実績】

1)実施対象と申し込み案内について

- ・ 食品提供対象：ひとり親家庭と就学援助を受給するふたり親世帯の18歳以下子ども及び親。
- ・ 想定世帯数と支援人数：180世帯、510人。
- ・ 申し込み方法：夏休みと冬休みに支援した210世帯を対象にホームページの申込フォームより申込み受付。

2)実施期間と回数について

- ・ 1世帯1回、宅配便または事務所・倉庫での直接受渡しで提供。
- ・ 申し込み受付期間：2月21日～2月28日
- ・ 発送または受渡し提供期間：3月8日～3月13日

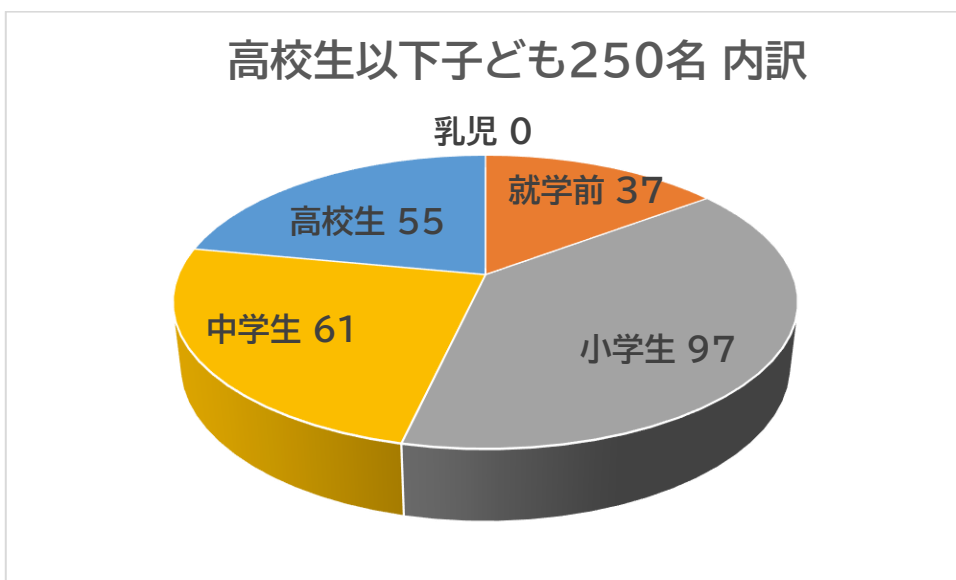
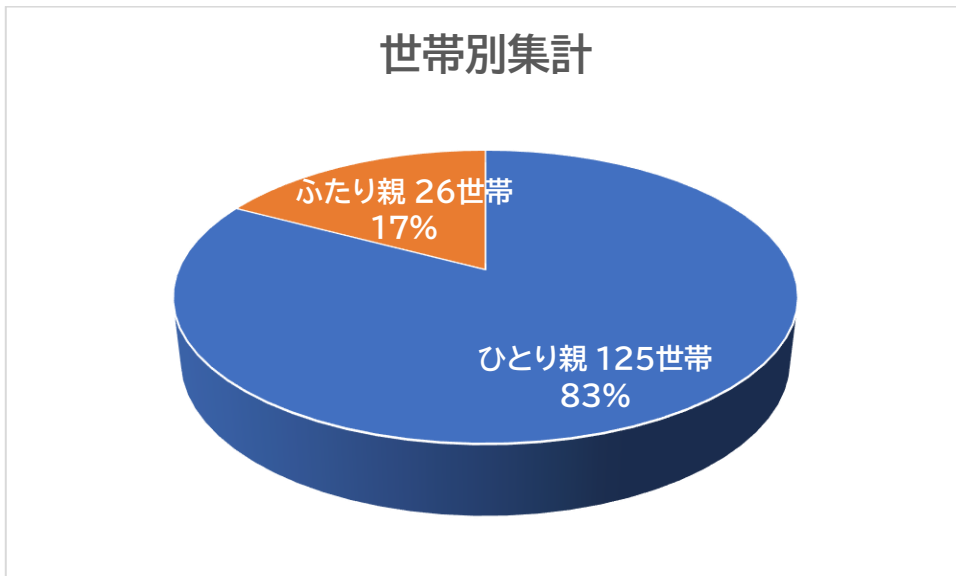
3)申し込み履歴：ホームページ上の非公開申し込みフォームより148件・メールより3件

日別申し込み状況					
2月	申込数	2月	申込数	3月	申込数
21日	81	25日	4	1日	1
22日	32	26日	4	4日	1
23日	15	27日	2	10日	1
24日	4	28日	6		
総計				151	

4)受渡しの状況：①宅配便(送料当団体負担) 66件(44%)、②事務所での受渡し 85件(57%)

受け取り方法	件数	%
3月11日(金) 事務所での受け取り	37	25%
3月13日(日) 事務所での受け取り	48	32%
宅配便	66	44%
総計	151	100%

5)支援世帯数実績:151世帯 18歳以下子ども数:250人 親+18歳以下子ども数合計:427名



6)提供食品について:

子ども1人世帯用提供食品例



子ども2人以上世帯用提供食品例



● 食品提供実績

総重量	お米	一世帯平均	米の一世帯平均	一人平均	米の一人平均
1,925.9kg	634.2kg	12.75 kg	4.2kg	4.51 kg	1.48kg

【食品集荷目標と実績】

- ・ 想定必要食品量 :1,500kg~2,000kg (1人あたり3~4kg)

食品寄贈集荷実績			
	1月	2月	総計
市民	199.0	289.5	488.5
常設	165.0	107.1	272.1
企業・団体	942.0	935.9	1,877.9
生協	0	817.1	817.1
合計(Kg)	1,306.0	2,149.6	3,455.6
(内米)	255.8	200.5	456.3

食品等提供企業・団体(敬称略)	
アサヒグループ食品株式会社	全国農業協同組合連合会酪農部
カーブス稲城店	カーブス狛江駅前店
カーブス横浜戸部店	カーブス祖師ヶ谷大蔵店
カーブススイオンスタイル東神奈川店	カーブス上野毛店
天理教江東分会	ポラン広場東京
キューサイ株式会社	東都生協
マルコメ株式会社	日本信号株式会社
ユウキ食品株式会社	尾西食品株式会社
株式会社オシザワ	明治グループ
株式会社ロツテ	町田華厳院
株式会社龍角散	パルシステム東京狛江センター
三色パステルアート	狛江三田会

7)同封書類と食品以外の提供品

- ①メッセージカード、②セット食品の賞味期限とオンラインアンケート案内、③子ども食堂ひかりっこチラシ

【広報】

- ・ 紙媒体: 食品寄贈呼びかけチラシ 3000部作成。ニュースレターに同封及び市公共施設・町内会などに配布。
- ・ インターネット媒体(ホームページ、facebook)に掲載。
- ・ 「広報こまえ」3月1日号・コマラジ(こまえFMラジオ)出演2月11日。

【実施経過】

日付	事業スケジュール	寄贈用広報	その他
1月13日(木)	春休み子育て応援検討会		
1月31日(月)		食品寄贈呼びかけチラシの作成	チラシのデータを役所に送付
2月11日(金)		コマラジ出演	粕江市 FB・Twitter 投稿依頼
2月14日(月)		ニュースレターNo.30 作成 食品寄贈呼びかけチラシ配布開始	
2月17日(木)		ニュースレターNo.30 完成	東都生協フードドライブ品寄贈
2月21日(月)	春休み食料支援申し込み開始	ニュースレターNo.30 発送ポスティング	カーブス店舗フードドライブ品寄贈
2月24日(木)			カーブス店舗フードドライブ品寄贈
2月28日(月)	春休み食料支援申し込み終了		東都生協提供商品の寄贈
3月1日(日)		広報こまえ掲載	
3月8日(火)	食品セット		
3月11日(金)	第1回お渡し会		
3月13日(日)	第2回お渡し会		

【収支決算報告】

収入		支出				
内訳		費目	内訳	単位	数量	実績(円)
生活クラブ福祉 事業基金助成金	150,000	印刷製本費	食品寄贈呼びかけチラシ 2月	部	2,200	5,814
寄付金	87,298	印刷製本費	ニュースレターNo.30 寄贈呼びかけ	部	800	4,770
		通信運搬費	宅配便代金	個	65	56,925
		通信運搬費	食品集荷私用車両使用運転謝礼	日	14	7,000
		消耗品費	配送用ダンボール 100 サイズ	枚	50	4,143
		消耗品費	配送用ダンボール 120 サイズ	枚	40	6,392
		消耗品費	食品小分用ジブロック L72 枚三箱	箱	2	7,370
		消耗品費	使い捨て手袋	箱	1	3,835
		賃借料	臨時倉庫賃借パレット3台分	月	1	8,800
		人件費	食品管理等スタッフ給与 2人	時間	120	122,400
		その他	不足食料購入費			9,849
合計	237,298		合計			237,298

この事業は「一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 2021 年度新型コロナ感染拡大による緊急助成 第5次」を活用して実施しました。

【事業実施の振り返り】

夏休み・冬休みの子育て応援で申し込みのあった 210 世帯にメールで案内しました。そのうち 151 世帯から申込があり、その半数以上が申込日初日に申し込まれました。子育て世帯がこの支援を心待ちにしていたことが窺えます。

また、今支援では支援世帯とのつながりを深めるため、直接受渡しを重視して取り組みました。その結果、57%にあたる 85 世帯が直接受渡しを選択、当日は感染対策をしながら、顔を見てお声掛けすることができました。

今回も支援世帯を対象にアンケートを実施し、食品を受け取った感想・コロナ禍3年目を迎えたお子さんの様子・食料支援以外のイベントや交流会への興味を伺いました。オンラインで実施した効果か、夏・冬休み支援のアンケート回収率を上回る 55%となりました。詳しくは別紙の集計結果を参照ください。

● 食品を受け取った感想

多くの食品寄贈やスタッフに感謝する声が続いています。

(アンケートの抜粋):「たくさんのお菓子、食材、生活用品、本当に助かります。子どもも買って貰えない欲しい物が、いつもたくさんあるので、とても喜んでます！支援して下さる企業の方々、個人の方々、直接お礼が出来ないので、どうぞ宜しくお伝え下さい。」など、寄贈者に感謝する声で溢れていました。

「メッセージが添えられていて、温かい気持ちになりました。

一つ一つ丁寧に箱に詰めてくださって感謝致します。」

「宅配便よりも直接受け取りに行って、何より対応していただいた方の優しさに身が染みました。」



● コロナ禍3年目を迎えたお子さんの様子

子どもたちはコロナ禍に慣れて来たと感じる親御さんが多い一方、コロナ感染で休園や学級閉鎖、イベント中止などで、友達や先生と会えないことに心を痛めている親御さんもおられます。また進級・卒業という節目の時期、期待や不安もあり、外へ出かけられず家で過ごすことが多いため健康面が心配とも書かれていました。

また、障がいのあるお子さんや不登校のお子さんを支える親御さんからのアンケートには、「家にいる事が増え、欲しいものも我慢させてしまい、イライラして親とぶつかる事が多くなりました。いけないと思っても怒鳴ってしまう」と葛藤する親御さんの気持ちも伝わってきます。

● 食料支援以外のイベントや交流会への興味

食品提供以外の子育て応援を検討するため、当団体が企画するイベント参加への興味と、どんな企画を希望するかを尋ねました。「参加したい」との回答は 60%、そのうち 66%の方が「野菜や果物の収穫」を希望していました。「野菜の収穫体験」は市内公立学校や JA マインズでも実施しており、情報を共有してもらいながら、子育て家庭が参加しやすい企画を検討していきたいところです。他にも参考となるご意見も頂戴し、実施可能な企画を考えていきたいと思ひます。

今支援で2021年度の子育て応援食料支援は終了となります。2022 年度もコロナの感染拡大で活動に制限がありますが、他団体や行政との連携を強化し、地域の支え合いで今後も子育て応援を進めていきたいと思ひます。